

福祉活動に関する現状——2009年度

50 East North Temple Street
Salt Lake City, Utah 84150-0007
電話：1-801-240-3001

末日聖徒
イエス・キリスト
教会

基本原則

- 末日聖徒イエス・キリスト教会の会員はイエス・キリストの弟子として、空腹の者に食べ物を提供し、かわいている者に飲ませ、旅人に宿を貸し、裸の者に着せ、病気の者や獄にいる者を見舞うという救い主の勧告に従うように努めています(マタイ 25:35-36 参照)。
- 個人の霊的、物質的福利に対する責任は、第1に個人に、第2に家族に、第3に教会にあります。
- 教会員とその家族は、自らの必要を満たすため全力で努力しているにもかかわらず生活の基本的な必要を満たせない場合、一時的な援助を受けるためにビショップに相談することができます。
- 地元の指導者であるビショップは、個人または家族の具体的な必要を満たすうえで、援助の質と量を見極める最良の立場にいます。
- 月に1度、教会員は続けて2度の食事を断ち、少なくともその2食分に相当する額を断食献金として寄付します。ビショップはこの断食献金を、援助の必要な人々を世話するために用います。
- 会員のさらなる自立を助けるビショップを支援するために、当教会は倉庫、生産事業、中古品店、職業支援センター、ファミリーサービス事務局を多くの地域に設立しています。教会員は自分の時間、才能、技術をささげ、これらの施設で多くの働きをしています。
- 当教会の福祉援助は人々の自立を支援することを目的としています。そのため、これらの福祉サービスを利用する人々は、受ける援助に対し、能力に応じて労働する機会が与えられます。
- 当教会は、ほかの宗教を信じる人々を益するために世界中で行われている人道支援・開発事業への資金援助も行っています。そのような事業には、災害時における緊急救援活動への支援、個人や家族や地域社会の自立を促進するプログラムなどが含まれています。
- これらの人道支援事業の一環として、教育、農業、社会福祉、ビジネス、医療の分野で技術と経験を備えた何百人ものフルタイムのボランティアが、世界中で奉仕しています。

詳しくは、当教会のウェブサイト「賢明な生活」

(<http://www.providentliving.org>) [英語]をご覧ください。

2009年度統計

教会福祉施設で提供された労働日数	76万3,737
雇用の紹介および職業訓練の実施数	
アメリカ合衆国およびカナダ	8万1,296
その他の国	10万3,273
教会福祉施設の総数	
倉庫	141
家庭貯蔵センター	102
生産事業	56
製品加工施設	25
貯蔵施設および配送施設	37
職業支援センター	322
デゼレト産業 (Deseret Industries) 中古品店	43
LDS ファミリーサービス事務局	78
福祉活動で奉仕している宣教師数	8,167
宣教師の割り当ての例	
職業支援センターの管理運営	
英語を第2言語として教える教師	
夫婦関係、親子関係の築き方を教える教師	
農業および医療活動の改善	
衣服の配送	
福祉事業の指導、宣教師の管理	
主要な災害支援活動数(1985-2009年)	198
最近の支援例	
サモアの津波における救済	2009年
フィリピンの台風における救済	2009年
インドネシアの地震における救済	2009年
エチオピアの飢饉における救済	2008年
ペルーの地震における救済	2007-2009年
アフリカはしか予防接種キャンペーン	2004-2009年
人道支援活動の内容(1985-2009年)	
現金による寄付	3億2,760万ドル
支援物資相当額	8億8,460万ドル
支援した国家数	178
食糧	6万1,892トン
医療器具	1万3,920トン
衣類	8万9,296トン
教育用品	5,965トン
衛生用品キット、新生児キット、文具キット	1,030万個